

令和2年度 第2回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会

議事録

日時 令和2年11月13日(金) 13:00~13:40

会場 恵庭市役所3階 301・302会議室

<出席者>

委員 原田市長、有田委員、山崎委員、鏡委員、池田委員、久保委員
田中委員、茶園委員、後藤委員、渡邊委員、野邊委員、水野委員
事務局 広中部長、野村次長、須貝課長、濱田主査、櫻本(議事録作成)

<欠席者>

委員 杉若委員、亀石委員、赤沼委員、堀尾委員、赤松委員

1 開会宣言(須貝課長)

2 会長挨拶(原田市長)

皆様、本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。また、日ごろから市政各般にわたってご支援、ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

本日の令和2年度 第2回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会の開催にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、安全安心なまちづくりにそれぞれの地域又は団体を通じてご尽力をいただいております。皆様のご助力により、子ども達が安全安心に外で過ごせ、また、交通事故防止や特殊詐欺などの犯罪抑止がなされており、感謝を申し上げます。

今回の主な議題は推進計画の策定であります。令和3年度から5年間の計画となるこの推進計画の原案は、専門部会の皆様に大変なご努力により作成されました。今回の会議で審議をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 議事

・配布資料の確認(須貝課長)

- 1) 恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画(原案)について(濱田主査)
→資料2及び3のとおり説明

- ・質疑応答
→特になし

原田市長：

専門部会の皆様の大変なご努力に感謝いたします。ありがとうございました。皆様のおかげで第2期の推進計画から磨き上がってまいりました。

今後、原案を議会の意見を頂戴し、また、パブリックコメントも実施して高めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上で議事を終わらせていただきます。

4 その他

原田市長：

事務局より何か連絡はありますか。

須貝課長：

特にございません。

原田市長：

委員の皆様より何かありますか。

後藤委員：

個人的な観点からの話で恐縮ですが、イタリアンレストラン「チェルボ」付近の交差点での交通事故が増えてきているように感じる。直近では、9～10月にこの交差点で交通事故が発生している。

事故原因を考えたところ、優先道路と交差する道路に案内標識（青い看板）が付いている点、市外からチェルボへ来店する客が多い点に関係していると思った。この2点から、チェルボ付近の道路に不慣れなドライバーは案内標識のある道路が優先道路であると勘違いをし、交差点で一時停止をせずに衝突事故を起こしてしまうのではないかと。また、一時停止の看板が街路樹の枝葉によって見えづらくなっているのではないかと考えた。

原田市長：

そのようなことは、それぞれの地域や町内会から市生活環境部へ意見が寄せられている。危ない箇所については現地の確認や警察との協議を行い、対処していきたいと考えている。

野邊委員：

不審者メールについて、不審者が出たという通知は来るが、その後の経過となる通知（例えば、犯人が逮捕された）は受け取ったことがない。経過や結果の連絡がこないため、いつまで気を付けていればよいのかが分からず、不安になることもある。

須貝課長：

不審者メールについて、市教育委員会が発信している「不審者情報」と警察が発信している「ほくとくん防犯メール」がある。住民や子どもの安全を優先するため、情報を受けてから不審者の真偽確認ができなくとも速やかに発信をしている。そのため、中には不審者でなかったケースもある。結果までは、市も警察も情報を発信してはいない。

野邊委員：

PTAをやっていると事の顛末を聞かれることがよくあるため、結果まで分かると市民としては安心できる。

有田委員：

基本的に犯人を逮捕した時は、余程の理由がない限り報道機関へ情報提供をしている。あとは、報道機関の判断で新聞やテレビ等に取り上げられる。

また、警察では犯罪までには至らない事案を前兆事案と呼び、例えば子供への声掛けをした等が該当する。この前兆事案が犯罪に発展すると困るため、注意喚起をするために警察では「ほくとくん防犯メール」を発信している。続報がない限りは大事に至らなかったと考えていただければと思う。

茶園委員：

私は町内会長をしているが、不審者がいるという情報や警察が家に入出入りしている姿に不安を覚える方もいる。個人情報の関係で言えない情報もあるかも知れないが、警察からの情報が何もないので町内の方から相談を受けても答えに窮してしまう。特に、一人暮らしの高齢女性が不安を感じているようである。

有田委員：

警察が市民に知らせた方が良い情報は全て報道機関へ提供している。ただ、報道機関は情報の取捨選択をするため公にならないものもあると考えられる。

ただ、交番や警察署へ問い合わせただければ、個人情報に触れない範囲で地域の安全のために注意喚起となる情報は提供することができる。不安に感じた場合は警察へ問い合わせていただきたい。

原田市長：

その他、何かありますか。

各委員：

特になし。

原田市長：

最後に恵庭交番所長である有田委員から恵庭市内の状況についてお話いただきたい。

有田委員：

安全安心への意識付けということで話をさせていただく。

刑法犯（泥棒、強盗等）の認知件数は全道的に減少している。刑法犯の認知件数は、

10月末時点で約15,600件（前年対比△約4,700件）であり、千歳署管内（恵庭・千歳）では、10月末時点で586件（△215件）である。ただ、刑法犯は新型コロナウイルス感染症の影響で減少しているが、ご存知のとおり特殊詐欺が増加している。10月末時点で、北海道全体では150件（前年対比+11件）、被害額は約3億3千万円である。恵庭市では2件、被害額480万円、千歳署管内では8件、被害額は2,460万円である。振込詐欺は電話一本でできますので、やはり高齢者被害の特殊詐欺については皆様からの注意喚起をお願いしたい。

交通事故について、本日から冬の交通安全運動を開始しましたがコロナ禍のためセーフティコールは中止となりましたが、ご存知のとおり今年は支笏湖畔のバイク事故で2名の方が亡くなっている。10月も盤尻で単独のバイク事故があり、1名の方が亡くなっているが、事故発生から24時間経過した後に病院で亡くなったため、交通事故死者数にはカウントされていない。オートバイのスピードを出し過ぎにより痛ましい事故が起きている現状となっている。

これからは朝晩の凍結によるスリップ事故、年末が近づいてお酒を飲む機会が増えることによる飲酒事故、これらに高齢者や子ども達が巻き添えにならないように広報活動等を行っていただきたい。ちなみに、昨日（11/12）時点における交通事故死者数は全道で118人（前年対比△10人）である。昨年の交通事故死者数は全道で152人であるから、予断を許さない状況である。

これからも交通安全について皆様方のご協力をよろしくをお願いしたい。

原田市長：

ありがとうございます。今年もあと1ヶ月半を残すところであり、更なる交通事故死を増やさないよう、皆様のご協力をお願いしたい。

以上をもって会議を終了させていただく。

～閉会～